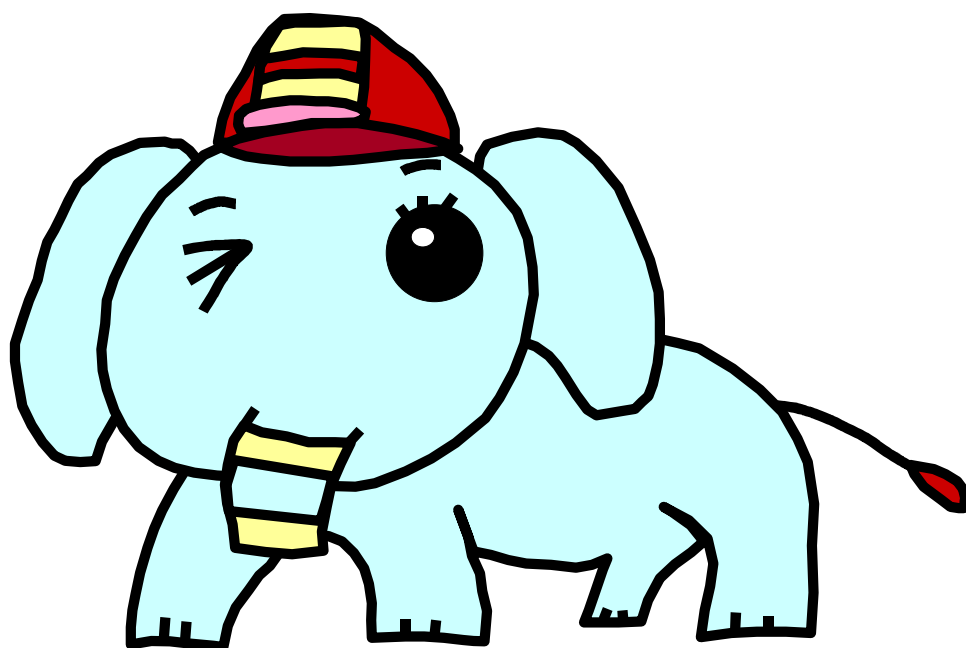


# 第3病棟

## 入院生活のご案内



この絵は入院していた子が書いてくれました☆

2009.4月改訂

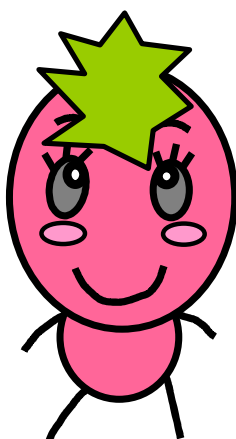
ご入院にあたり一日も早く健康を回復されることを願ひ皆様のお手伝いをいたします。

第3病棟では小児科として「入院される方へ」とは別の規定があります。

入院時にお渡ししたご案内とあわせてご確認下さい。

## 目次

入院時の準備	1	検査の説明について	11
病棟のご案内	2~4	付き添いについて	12~13
・ スタッフ構成		・ 付き添い者の外出	
・ 看護体制		・ 付き添いの交代	
・ 病棟図		面会	13
・ 病棟内の約束		外泊・外出	14
・ お部屋について		付き添い者の駐車場利用	15
病状の説明	4	宿泊室	16
事故防止	5	病院近郊の宿泊施設のご案内	17
1日の流れ	6	保育士の活動	18
生活レベル	7	訪問学級	18
感染予防	7	各種書類について	19
食事	8	看護学生臨地実習について	19
薬について	9	福祉制度のご案内	20
尿検査	9	病院近郊地図	
点滴の管理	10	宿泊施設地図	



この絵は入院していた子が書いてくれました☆

入院時にお渡しした封筒に、「病衣利用伝票」「在院家族許可願」「付添用寝具申込書」「テレビ・冷蔵庫・電気利用申込書」「小児付添者駐車場使用申込書」が入っています。  
ご利用の際は、伝票に記入して看護師もしくは看護助手にお渡し下さい。

## 入院時の準備

- 印鑑、保険証、診察券
- 母子手帳、お薬手帳
- 現在、飲んでいる薬
- パンツもしくはオムツ、おしりふき
- 衣類、肌着類、タオル類
- 洗面道具、入浴セット
- パジャマ
  - ◆ 病院貸与希望の方は、「病衣利用伝票」が必要になります。
  - ◆ 幼児用の一番小さいサイズは100くらいで、使用料は1日40円（税別）です。
  - ◆ 乳児用の長肌着の病衣は1枚100円です。
- 上履き
  - ◆ 足にあったもので脱げにくく運動靴のような底が滑りにくいものを選んで下さい。
  - ◆ クロックスはつまずきやすいので、極力おやめ下さい。
  - ◆ スリッパ、ヒールのあるサンダルなどは危険ですのでおやめ下さい。
  - ◆ 音の鳴る靴もご遠慮下さい。
- コップ（割れないもの）
- 箸、スプーン、フォーク類
- 日用品（おもちゃ、本、勉強道具、ティッシュペーパーなど）
- 付き添いの方の生活用品

## 粉ミルクについて

- 粉ミルクを飲まれる場合は、栄養課で作成しますので粉ミルクと哺乳瓶の持参は不要です。
- 普段ご使用している乳首をご使用したい場合は持参して下さい。
- 特殊ミルクやフォローアップミルクをお飲みの方や特定のミルクしか飲まない場合は、持参して下さい。
- 普段の水分摂取時の容器として哺乳瓶をご持参いただく場合は、ガラスの哺乳瓶は落下破損の原因となり非常に危険ですのでご遠慮下さい。又、消毒物品が必要な方はご持参下さい。

## 病棟から貸し出しできるもの

- 補助便座（幼児用のもの）
- 踏み台（数に限りがありますので、毎日使う際はご持参下さい）
- シャワー用椅子
- ベビーバス
- オムツ1枚50円
- 幼児用テーブル

## 病棟のご案内

第3病棟は22床の個室があります。

小児科が主になりますが、成人の患者さんも入る混合病棟です。

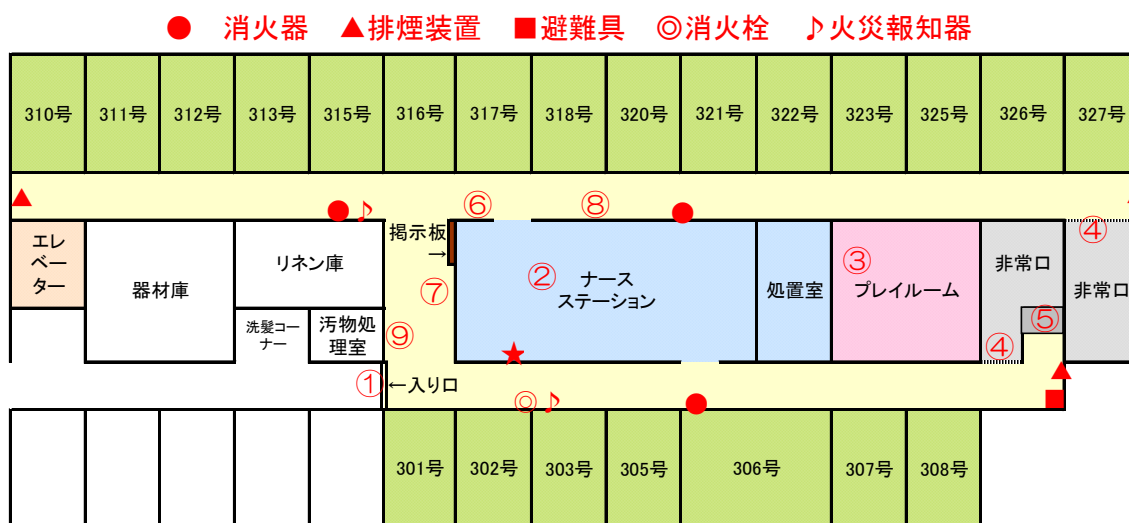
### スタッフ構成

医師、看護師、保育士、看護助手、メディカルパートナーで構成されています。

### 看護体制

- 3交代勤務（0：30～9：30、8：30～17：30、16：30～1：30）
- 入院から退院まで、受け持ち看護師を中心として一つの看護チームとして日常生活の援助をさせていただきます。
- 受け持ち看護師は入院後、数日以内に決定します。
- 受け持ち看護師はお子様やご家族と共に看護計画を立て、それをもとにケアをします。その他色々な相談窓口になりますので、ご相談下さい。
- 受け持ち看護師が不在の時は、その日の部屋担当が責任を持ってケアにあたります。
- お部屋にネームカードを掲示しているものがその日の担当看護師です。

### 病棟図



#### ① 入り口

扉は必ず閉めて下さい。出入り口であり、周辺病室の患者様のご迷惑になりますので、面会にご遠慮いただき、扉周辺ではお静かに願います。

#### ② ナースステーション

- ★ 電子レンジ、オーブントースター、電気ポットがあります。お子様をお連れの際は、事故のないよう十分ご注意ください。また、病室前のため会話される時は周囲のお部屋へご迷惑にならないようにして下さい。

### ③ プレイルーム

- 使用可能時間は、6時から20時です。(9時と17時に30分間清掃をします。)小・中学生の訪問学級がある時や、小さなお子様たちの設定保育があるときは、入室を制限しています。入り口に札をかけますのでご協力下さい。
- プレイルームで遊べるかどうかは、医師の指示で決まります。
- プレイルームの備品貸し出しについては、保育士にご相談下さい。本の貸し出しは可能ですが、遊具は貸し出しできないものがあります。感染予防のため、使用前後でお子様の手洗いをお願いします。
- 飲食は禁止です。
- 食事時間、回診時間、11時、15時頃にはお部屋に戻って休息や水分補給、排泄など促して下さい。
- プレイルームはお子様だけで遊ぶことはできません。様々な病状のお子様が入院しているため、打撲や転倒、不慮の怪我をした時は観察が必要になりますので、必ず保護者の方の付き添いをお願いします。
- わずかな時間でも付き添いの方がプレイルームを離れる際には、お部屋に戻られるか事故防止のため看護師に声をかけて下さい。
- 保育士がいる時はお子様だけの使用も可能です。ただし、常時付き添いが必要なお子様の場合は保護者の方が付き添って下さい。
- 保育士がいる予定の時間でも、事情により遅れる場合もあります。必ず、保護者の方がプレイルームまで付き添って下さい。
- 緊急の際は、入り口横の壁上に呼び出しボタンがありますので押して下さい。

### ④ 非常口

お子様の転落事故防止のため、防護ネットを設置しています。  
緊急時以外は使用しないで下さい。

### ⑤ 下膳棚

配膳車がない時に食べ終わったお膳を置いて下さい。

### ⑥ 配膳車

食事時間になったらアナウンスがありますので、取りにきて下さい。

### ⑦ 図書コーナー

ご自由にご利用下さい。使用前後の手洗いと、整理整頓をお願いします。

### ⑧ お茶

毎食前にお茶を準備しています。アナウンスがありますのでご利用下さい。  
熱傷の危険がありますのでお子様がいたずらしないように注意してください。

## 病棟内の約束

- 廊下や部屋のドアの前で子ども達を遊ばせると、周囲のお部屋の患者さんにご迷惑がかかりますので、プレイルームに誘導願います。
- 廊下を走らない、大きな声を出さないようお願いします。
- 他の病室に入ることはできません。

## お部屋について

- 室内及び病院敷地内は禁酒・禁煙です。
- ベッドネームの横に血液型の札をかけています。  
取り外したり、持ち帰ることのないようお願いします。
- 体温計は貸し出しになります。退院時にお返し下さい。  
破損時・紛失時は実費を頂いております。(1,845円)
- 病院内での盗難防止のため、貴重品の持ち込みは最小限にし、保管には床頭台のセイフティボックスをご利用下さい。なお、鍵の紛失にご注意下さい。  
紛失時は実費を頂いております。(315円)
- 冷蔵庫は病室内にあるもののみになります。冷凍庫はありませんが、ナースステーションで1人1個アイスをお預かりできます。氷もありますので必要な場合声をかけてください。
- 病状や病棟管理上の理由により、お部屋移動をお願いすることがあります。
- 荷物はできるだけ最小限にし、環境整備を心がけて下さい。
- 電気代はテレビ1日140円、冷蔵庫1日100円、その他電気製品1台につき1日50円です。持ち込める製品に関しては病院の「入院のしおり」をご参照下さい。  
「テレビ・冷蔵庫・電気利用申込書」の伝票が必要になります。
- 加湿器はカビ発生の可能性があるため、積極的に利用することはご遠慮いただいておりますが、医師の指示により許可できる機種もありますのでご相談下さい。  
一時的に加湿をする場合、浴室にお湯を張ることもできますが小さいお子様の溺水の可能性がありますので水量は最小限にして頂き、ためたままにしないようお願いいたします。
- ベッドや病院の備品にはシールを貼らないで下さい。
- 室内の壁には画びょうは使用しないで下さい。
- 部屋の入り口のドアに貼りものをすると、開閉に支障をきたしたり落下したりすると取れなくなるため、壁と重なる部分には貼りものはしないで下さい。



## 病状の説明

- 医師からの治療方針や病状説明は原則的にご両親にさせていただきます。
- ご質問は朝・夕の回診時をお願いします。  
その他に何かある場合は、お気軽に看護師に声をかけて下さい。



## 事故防止

お子様が入院するという事は、これまでとは違う環境の中で過ごすことになります。病院、病室の床は硬く医療機器やコンセントコード、医療ベッドなどご自宅にはない危険がたくさんあります。また、入院した時は体調も悪く元気がないと思っても、回復するにつれて急な動きでふらついたり転んだりすることもありますので、ご家族の見守りや付き添いなどのご協力が必要です。

ご不明な点、ご心配なことがありましたら、看護師や担当医にご相談下さい。

- サークルベッドのベッド柵は必ず上まで上げて下さい
  - ◆ 柵を上げなかったり、半分しか上げないとお子様がのぞき込んだり、つかまり立ちをした時に転落することがあります。
  - ◆ 一瞬でもベッドを離れたり、しゃがんだり、背を向ける時はベッド柵を必ず上げて下さい。
  - ◆ 寝返りをしていないお子様でも、保護者の方がお部屋を離れる際は中段まで上げて下さい。
  - ◆ ベッド柵をおろす時は、お子様を柵から離し正面に立って、お子様から目を離さず操作して下さい。
  - ◆ お子様がベッド柵のレバーをさわっていたら、危険なことをきちんと説明して下さい。
- 成人用ベッドの柵によりかからないようにして下さい。
- 病院の床は履物の種類や素材によっては、滑りやすくなったりつまずきやすくなったりしますので、足にあった脱げにくいもので、製品の特徴など十分留意してお選び下さい。
- 防火扉や自動ドアの側で遊ばないように注意しましょう。
- 転んだり、どこかに体をぶつけた時は観察が必要です。必ず看護師にお知らせ下さい。
- 毎食事前にお茶が病棟入り口付近に置かれます。お子様がさわらないようご注意ください。
- 各病室入り口付近に設置されている速乾性擦り込み式手指消毒剤を小さなお子様があると目に入る恐れがありますのでいたずらしないようご注意ください。
- 点滴をされている場合は、必ず保護者の方が付き添って移動し、保護者の方が点滴の棒を押して下さい。
- また、小さいお子様は点滴をされていない場合でも手をつなぎ必ず保護者の方が付き添って移動して下さい。



## 1日の流れ

6:00	起床 検温 処置	目が覚めたら体温を測っておいて下さい 血圧や体重測定をすることもあります 採血や検尿がある場合は声をかけます
8:00	朝食	
9:00	回診	お部屋でお待ち下さい
10:00	検温 処置	体温、血圧測定 検査や治療がある場合は声をかけます
12:00	昼食	
14:00	検温	体温測定
15:00	おやつ	幼児食を食べている方に出ます
16:40	回診	お部屋でお待ち下さい
18:00	夕食	
19:00	検温	体温測定
21:00	消灯	成人は22時ですが小児は21時です

- 検温

体温測定は1日4回、血圧測定は1日1回ですが、病状によりそれ以外にも測ることがあります。

- 体重測定

毎週木・日曜日、朝食を食べる前に測ります。

- 身長測定

毎月1日に測ります。

- 検査

- ◆ 前日に翌日の検査内容についてお伝えします。

- ◆ 当日は看護師が声をかけますのでお待ち下さい。

- ◆ 血液検査の結果で治療内容が決定される場合がありますので、朝の採血は6時以降順次させていただきます。眠られている場合でも、声をかけさせていただきますのでご了承下さい。

- ◆ 尿の検査は基本的に起床時の尿をとります。カップでとれる場合はとれたら声をかけて下さい。

- ◆ オムツの場合は起床したら看護師に声をかけて下さい。

- 身体の清潔（入浴・シャワー・からだふき）

- ◆ 点滴をしていない場合は朝7時から消灯までに済ませて下さい。

- ◆ 点滴をしている場合は、看護師が着替えのお手伝いや点滴固定部が濡れないようにしますので、10時～16時までに行なって下さい。



## 生活レベル

生活レベルとは、感染予防のために白血球数に応じて行動範囲を示すものです。

これは、入院時の病名や病状から医師が判断しています。

その後、治療内容や身体の状態、好中球数で変更されますが、すべて医師の指示になります。


好中球は500以上あればレベルB、500以下でレベルAとなるのが一般的です。

採血日の朝回診で検査データノートをお預かりします。夕回診で、データが記入されたノートをお返しします。検査結果はとても気になるところですが、原則的に夕回診までお待ち頂いています。

なお、好中球は検査翌日に結果が出ます。検査データノートには好中球〇%と書かれています。

これは、白血球数の中に好中球がどのくらいの割合あるかということを表しています。

$$\text{好中球数} = \text{白血球数} \times \text{好中球\%} \div 100$$

	食事	行動範囲 環境	検査で部屋から 出る時	プレイルーム	清潔	面会
A 	生もの 乳製品禁	室内のみ ドアや窓開放禁	マスク使用	禁	シャワー浴可	両親のみ 両祖母、 付き添い交代許可者 (土曜日14時～16時の 間で1時間) 室内には4人まで
B 	普通食	病棟内 ドアや窓開放可	マスク不要	可	入浴可	両親・祖父母 付き添い交代許可者 (土曜日14時～16時の 間で1時間)

## 感染予防

感染予防行動はお子様にとって必要であり、入院中のお子様全体の感染予防となることをご理解下さい。

- ご家族の方、お子様に行って頂く感染予防行動
  - ◆ 手洗い・うがい
  - ◆ 皮膚やお尻の傷の改善や清潔を保つための入浴やシャワー浴  
ウォシュレットの使用
  - ◆ 口腔内の清潔、虫歯の予防と改善  
歯科衛生士のブラッシング指導を受けることができます。
  - ◆ 室内の清掃は毎日業者が行いますが、清掃しやすくほこりをためない  
ような環境整備、整理整頓をお願いします。
  - ◆ 確実な服薬
- ストローマグなどの同じストローを繰り返して使う容器は、とても汚れやすいのでストロー内をブラシで毎日洗浄してください。
- 感染予防行動は1回で効果があるものではありません。  
必要性を理解して普段から継続して行うことが大切です。  
小さいお子様には保護者の方が一緒にやって見せて習慣化できるようにして下さい。



- 部屋の入り口にある速乾性擦り込み式手指消毒剤は部屋の出入りの際にご使用下さい。  
使用方法は説明書をご覧ください。

## 食事

食品からの感染を予防するため生活レベルによって食事制限がされます。

また、口内炎や吐き気などで食事が進まない時は、形態やメニューの変更などができますので看護師にご相談下さい。栄養士が訪問して相談することもできます。

### 生活レベルAの食事

レベルAは【生もの・乳製品・発酵食品・衛生管理が曖昧なものは禁止】になります。

ペットボトルは直接口をつけて飲まず、コップに注いで飲みましょう。また、開封したら 24 時間を目安に飲みましょう。

#### 食べてはいけないもの

- ◇ 生肉、生ハム
- ◇ 生魚、刺身、たらこ、筋子、うに、塩辛など
- ◇ 生卵
- ◇ 浅漬け、手作りの漬け物
- ◇ 持ち込みの生野菜
- ◇ 皮をむかないで食べる果物（イチゴ・さくらんぼなど）
- ◇ カットされた果物
- ◇ 調理パン
- ◇ 納豆
- ◇ 全ての牛乳
- ◇ 紙パックに入った要冷蔵のコーヒー牛乳やミルクティ
- ◇ 乳酸飲料（ヤクルト、カルピスなど）
- ◇ バター
- ◇ チーズ
- ◇ ヨーグルト
- ◇ 生クリーム
- ◇ 生チョコレート
- ◇ プリン
- ◇ アイスクリーム



#### 食べてもいいもの

- ◇ 市販されている、たくあん・梅干し
- ◇ 乾物（のり、ビーフジャーキー、干し柿、干し芋、燻製など）
- ◇ 個包装のお菓子
- ◇ 病院食に出る生野菜
- ◇ 果物は新鮮なものを流水で十分洗い、皮をむいて食べる物  
みかん・バナナ・粒の大きいブドウなど  
厚く皮をむくもの：梨・桃・リンゴなど  
\*リンゴの芯の部分は虫が入りやすいので芯の付近も厚めにむく

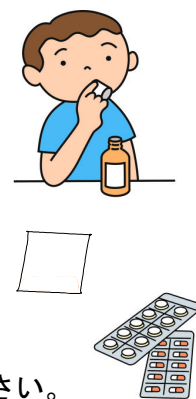
#### 乳製品を含んでいる物

- ◇ 材料に乳製品が含まれていても、十分に加工された菓子類  
（クッキー、チョコレート、キャンディなど）
- ◇ 乳製品を多く含んでいても、しっかりと加熱されている料理  
（シチュー、クラムチャウダー、グラタンなど）
- ◇ 個包装のマヨネーズ
- ◇ ピザなどの加熱したチーズ、チーズ味のお菓子
- ◇ 缶入りミルクティー、缶入りコーヒー
- ◇ マーガリン
- ◇ パンに薄く塗って焼いたバター



## 薬について

- 薬は水かお茶でそのまま飲めるようにしましょう。
- 薬は飲まなくてはいけないと子どもにもわかってもらえるようにごまかさないようにしましょう。
- 薬を飲んで 20 分以内に吐いてしまった場合は、飲み直しが必要です。看護師にお知らせ下さい。
- 飲んだ薬の空袋は回収しますので出しておいて下さい。
- 内服がうまくできない時や何か困った時にはすぐに看護師にお知らせ下さい。



## 尿検査

- 病気によっては尿の量や性状を確認することは大切なため、入院中袋にためていただくことがあります。
  - また、治療薬の種類により、尿を毎日チェックすることがあります。必要な場合、尿カップを前もってお渡ししますので、尿を 10ml 程度採ってトイレに置いたまま看護師にお知らせ下さい。
- ◆ 採血と一緒に場合は朝起床時（尿の一般的な検査）
  - ◆ 1 日 1 回の場合は日中（尿糖の検査）
  - ◆ 1 日 3 回の場合は起床時・日中・夕食後（pH・潜血の検査）
  - ◆ オムツの場合は、ガーゼをオムツにはさんで下さい。取れたら尿カップに入れて看護師に渡して下さい。
  - ◆ 尿カップやガーゼがなくなったら、看護師に声をかけて下さい。
  - ◆ 尿をためているお子様は、排便時の尿も流さないようにして下さい。
  - ◆ 朝 6 時前に、ためている尿の袋を交換するため尿を便器に流します。水洗の音がしますが、ご了承願います。



## 点滴の管理

点滴は正しい量を入れることが大切なので輸液ポンプという機械を使用しています。点滴の管が抜けたり、ずれたり、血が出て固まって詰まると刺し直しが必要になってしまうため、早期発見と対応が必要です。

### 看護師が行うこと

- 訪室ごとに点滴をしている部分の腫れや漏れがないか観察しています。また、点滴がずれていないか、テープがはがれていないか、輸液ポンプ、薬液などのチェックをしています。
- シーネ固定をしている場合、汗やムレで汚れやすくなっていますので、皮膚の状態に合わせて毎日交換しています。
- 夜間睡眠中も点滴をしている部分の観察をしています。  
付き添いの方とお子様と一緒に寝る場合は、点滴の棒がある側にお子様を寝かせて下さい。

### 付き添いの方へのお願い

- 刺入部を痛がる、よく触るなど何か違和感がある時、点滴固定がずれていたり、濡れている、テープが取れた時、機嫌が悪い、何かいつもと違う時は看護師にすぐにお知らせ下さい。
- 小さいお子様は特に汗も多くずれやすいので、点滴が入っている手を振ったり、かじったり、足に点滴が入っている場合は立ったりすると危険なので注意して下さい。
- 輸液ポンプは触らないようにして下さい。アラームが鳴った際には看護師にお知らせ下さい。
- 輸液ポンプはバッテリーがありますので移動の時にコンセントをはずすのは構いませんが、すぐにコンセントに入れておくようにして下さい。

### 治療薬を入れている時の注意点

- 薬液投与数分から数時間に出る過敏症状と徐々に出てくる副作用症状があります。
- 薬剤によって出やすい症状は異なります。  
薬が入っていつもと違う症状がありましたらすぐにお知らせ下さい。



## 検査の説明について

痛い検査は子どもでも大人でも嫌なものです。大人はどんな検査なのか説明をしてもらってから行うのが当たり前ですが、子どもには「怖がるから」「泣くから」といって説明しないことがあります。この状態で検査をすると恐怖・不安・驚きで強い抵抗をし、心は傷つき、医療者を見ると警戒したり怯えたりします。

子どもでも検査のイメージがつけば「何をされるかわからない」という恐怖は軽減されます。検査はイヤだけどやらなくちゃならないと子どもなりにわかると、無理やりされるよりも子どもは頑張れます。

私たちは、この心の準備ができて子どもなりに頑張れるようお手伝いしたいと考えています。性格なども考慮しその子のわかる言葉や表現で説明できるよう相談し、子どもがどうしたいのか希望を聞いて子どもと一緒に考えていきましょう。

ご家族としては泣いたり不安がる我が子を見るのは辛いですが、がんばる子どもを支えてあげることが大事だと考えています。ご家族の負担が強いようでしたら、遠慮なく看護師にご相談下さい。

### 検査や処置の種類(主なもの)

- ・採血：点滴から逆流させてとれない時、針を刺してとります
- ・点滴、シーネ交換
- ・レントゲン、CT、MRI
- ・骨髄穿刺(マルク)
- ・腰椎穿刺(ルンバール) 等

### ご家族に行ってもらいたいこと

- ・検査の前には検査があることを伝えて下さい。
- ・嘘をつかないようにしましょう。
- ・泣いたり、不安そうになった子どもを受け止めて、抱きしめたり、励ましたり、嫌な気持ちに共感してあげて下さい。
- ・処置室の前まで一緒にきてあげて下さい。
- ・処置中、子どもが呼んだ時ドア越しにでも返事してもいいですよ。
- ・終わったらがんばりを褒めましょう。
- ・処置が終わった後、子どもが処置の話をしたり、されたことをまねたりすることがありますが、これは子どもなりに気持ちの整理をつける大切なことなので、子どもの気持ちを聞きながら見守ってあげて下さい。

### 検査の説明方法

- ・写真や絵をみせる
- ・人形を使う
- ・現物を見せる
- ・言葉や身振りで説明

### 検査や処置の時看護師が行っていること

- ・次に何をするのか、どんな感覚なのか検査や処置の流れを実況のように説明します。
- ・嘘を付かずに子どもの声に応えます。
- ・「泣いてもいいけど動かないよ」と繰り返し伝えます
- ・馬乗りになったり、無理やり押さえたりしません。どうしてもダメな時はのり巻きのように身体を押さえる物を使用します。
- ・気を紛らせられるように、おもちゃであやしたり、音楽をかけたり、DVDをつけたり、その子の好きな物を側に置くことができます。
- ・終わったらご褒美シールなど渡して、褒めています。
- ・検査の後に、どうだったか遊びながら聞いたりします。

### 検査に向けての子どもの希望を確認しましょう

- 検査があることをいつ言ってほしいか。(前日、当日の朝、直前：遅くても30分くらい前には伝えます)
- 誰に言ってほしいか。(医師、看護師、親)
- 検査に持っていきたいお気に入りの物はあるか。
- DVDやCDをかける場合は何が良いか。他に希望があれば、なんでも相談して下さい。

## 付き添いについて

- 原則的に両親のどちらかに 24 時間付き添いをして頂いています。  
入院時に「在院家族許可願」を記入して下さい。
- 付き添い寝具を頼む場合は、「付添用寝具申込書」が必要になります。  
1 日 210 円で寝具と簡易ベッドの貸し出しとなります。  
どちらか 1 つの貸し出しでも金額は同一です。  
付き添い者の簡易ベッドや寝具は、起床後たたんで整理整頓をして下さい。  
毎週金曜日シーツ類を交換します。
- 付き添い食を頼む場合は、1 階受付にて申し出ていただき、「付添食」伝票を記入して料金を支払います（前払い）。追加注文する場合も同様にして、再度伝票の記入と支払いをして下さい。一度払ったものはキャンセルできませんのでご注意下さい。（朝 300 円 昼・夕 450 円/税別）尚、朝食のお申し込みは前日 17:30 まで、昼食は当日 10:30 まで、夕食は 16:30 までとなっておりますので、ご了承願います。  
「付添食」伝票はナースステーションにもご用意しています。
- 治療上食事、排泄、内服について把握が必要になるため、表に食事摂取量、排尿回数（量）、排泄回数など記入して下さい。
- 洗濯機は東棟 3 階にあります。詳細は「入院される方へ」をご参照下さい。

### 付き添い者の外出

- 部屋を離れるのは最小限にお願いします。  
小さいお子様が寝ている間の外出も許可していません。
- 外出される時は付き添い交代されるか保育士の活動時間を利用して済ませて下さい。  
保育士の活動時間は、生活レベルにより条件の違いがありますので、「保育士の活動」の項を参照して下さい。
- ただし、病状が安定していることや 1 人でお部屋にいられること、自分でナースコールが押せるなど、一定の条件から医師、看護師で判断させていただき許可される場合があります。その都度看護師にご確認下さい。
- 付き添いの方の外出制限は、基本的には 24 時間の付き添いをお願いしていること、お子様の病状の変化や地震、火災時の避難を含めた安全管理上の理由が上げられます。  
また、付き添いされる方も感染予防に努めていただきたいことも理由になります。  
事情のある方はその日の担当看護師にご相談下さい。
- 外出は、その日の担当看護師に相談のうえ、前もって外出届に所在と連絡先を記入し看護師に渡して下さい。
- 売店や洗濯物を取りに行くなど、院内で短時間病室を離れる場合はナースステーション窓口で不在になることを伝えて下さい。

## 付き添いの交代

- 付き添いの交代は原則的に両親のみです。
- やむを得ない場合交代できる人として下記の条件に合う方を 1 名決めて、前日までにご相談下さい。医師の許可が必要となります。  
(今後、生活レベル A でも B でもこの方のみ交代可能となります。)
- ◆ 両祖父母 (いない場合) → 血縁者 → 左記以外の方
- ◆ 食事介助、内服介助、感染予防行動がとれ、病状や生活上の注意点が理解できる方
- ◆ 回診時や回診以外でも治療の妨げとならないよう責任の負える方
- ◆ 緊急を要する必要性が生じた場合の病状説明の伝達ができる方
- ◆ 診断や治療方針に関わる説明はご両親にさせていただきますので、付き添いの交代をされた方への重複した説明はできません。
- 付き添いの交代をする時
- ◆ 必ず看護師に申し出て下さい。交代可能な状態か判断させていただきます。
- ◆ 付き添い交代者が発熱や咳などの感染症状がある場合、交代できません。
- ◆ 交代者にも「入院生活のしおり」を読んでいただき、排泄、食事介助の方法、点滴の注意点や安全管理、内服の有無などについて申し送りを行って下さい。
- ◆ 交代される時は、面会とは異なりますのですみやかに済ませ下さい。

## 面会

- 面会は、生活レベルにより規定があります。
- きょうだいの面会は年齢に関係なくできません。
- 許可されていない方の面会は、入り口ドア付近でされますと隣の病棟の患者さんにご迷惑がかかりますので、ご遠慮下さい。
- またナースステーション前での面会もご遠慮願います。面会は東棟 3 階デイルームをご利用下さい。
- 風邪気味の方、流行性の病気 (インフルエンザ、はしか等) の方と接触している可能性のある方は面会をご遠慮下さい。
- 面会前にはうがいと手洗いを行って下さい。
- 面会は病室内のみとしていただき、プレイルームの入室をご遠慮下さい。



## 生活レベル A

- 面会は原則的に両親のみです。
- 毎週土曜日の 14 時から 16 時までの間で 1 時間、両祖父母の方の面会はできます。この曜日、時間以外をご遠慮下さい。
- 面会時はナースステーションに一声かけていただき、面会用紙に御記名下さい。
- マスク着用をしていただき室内でお過ごし下さい。(マスクはこちらからお渡しします) 個室という空間に多人数が入ることを避け、出入りを最小限としていただくため同時に入るのはご両親を含めて 4 名までとしていただき、面会中の面会者の交代をご遠慮下さい。
- 祖父母以外の付き添い交代者として許可されている方も、上記の時間帯で面会できます。

## 生活レベルB

- 面会は両親、両祖父母の方のみです。
- 室内に入る人数に制限はありませんが、面会時間は病院規定の時間内をお願いします。
- 祖父母以外の付き添い交代者として許可されている方は、生活レベルAの病棟面会時間の同条件で面会できます。

## 外出・外泊

医師の許可が必要です。前日までに、目的と外出先をお知らせ下さい。  
医師が病状から判断し許可が出ます。

### 外出時の注意点

- 外出時は必ずマスクを着用し、人混みを避けた場所や時間帯にしましょう。時間帯や期間（夏休み・冬休み）によっては混雑する場所もありますのでこのような場所も避けましょう。
- 外出は、遅くても19時までには帰院して下さい。
- 外出後はまっすぐお部屋に戻り、うがい手洗い更衣をしてから室外へ出るようにしましょう。



### 外泊時の注意点

- 外泊前には、ご自宅の室内清掃を行いほこりの少ない状態で過ごすようにしましょう。
- ご自宅へ帰られたらできるだけ自宅から外出せず、きょうだい、祖父母の方達など家族単位の方々と過ごしましょう。外出は人混みを避けたとしても好ましくありません。
- 発熱や風邪症状がある方や、友人などの小さいお子様同士の面会は避けましょう。
- 入院中に行っていた、うがい手洗い、歯みがき、内服など感染予防のための行動は同様に続けましょう。
- 食事の制限はありませんが衛生管理には十分に注意して下さい。
- 入浴は清掃後の浴槽で1番に入るようにしてください。
- 38℃以上の発熱や体調不良があった場合は病棟に電話連絡下さい。
- 病状や治療の状況によっては、短期間の退院とする場合があります。この場合、お部屋をあけることとなりますので荷物はロッカーに保管されるか、お持ち帰りをお願いしています。入りきらない物品も、管理上紛失の責任を負えないためお預かりできませんのでご了承願います。また、外泊からは遅くとも15時ごろまでに戻られるようお願いいたします。

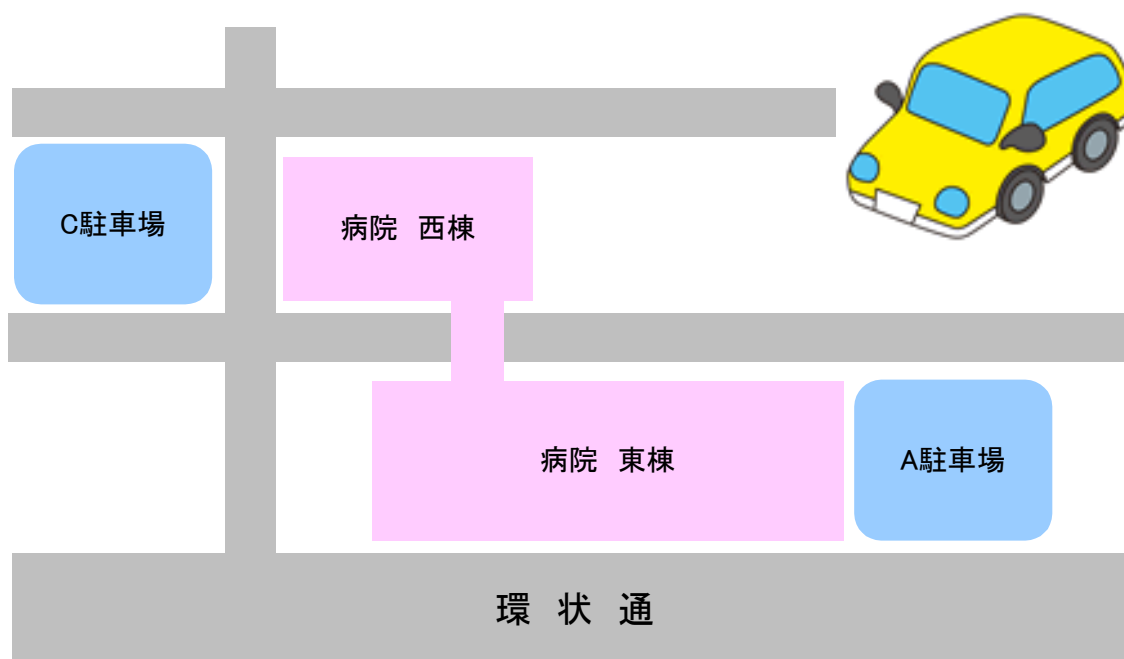


## 付き添い者の駐車場利用

入院患者さんの駐車場使用は認めていませんが、ご両親に限り付き添いや遠方からの面会や長期間の駐車を希望される場合は許可しています。ただし、台数には制限があります。

入院・退院時にご家族が送迎で来院された場合は、その旨お申し出いただければ当日1台1回限り無料となりますので、東棟1階事務受付にお申し出下さい。

- ① 駐車をして、駐車券を取る。
- ② 「小児付添者駐車場使用申込書」に記入する。
- ③ 届出用紙記入後、東棟1階受付に持って行き申し込みをする。  
料金は1週間毎の申込と精算（前払い）になります。  
領収書は紛失しないようご注意ください。途中で利用中止の場合は日割りで返金致します。  
利用料金 1週間まで1日500円  
2週目から3週目まで1日300円  
3週目以降1日200円
- ④ 駐車届出をされた方で、期間中に出入庫する時は、その都度東棟1階受付にお申し出いただき、領収書を提示のうえ無料の証印をお受け下さい。  
領収書を提出して頂くと、後日精算することができます。
  - 申し込み用紙がない場合は、看護師かメディカルパートナーに声をかけて下さい。
  - A、C駐車場をご利用下さい。24時間出入庫できます。
  - 届出をされた日からの許可となります。日にちをさかのぼっての対応は致しかねますのでご了承下さい。



## 宿泊室

院内にはご家族用の宿泊室があります。遠方から付き添い交代に来られるご家族も宿泊できますが、重症者のご家族を優先させて頂くため予約はできません。また、救急当番の日は使用できない場合があります。

- 料金

シングル：1000円

ツイン：2000円

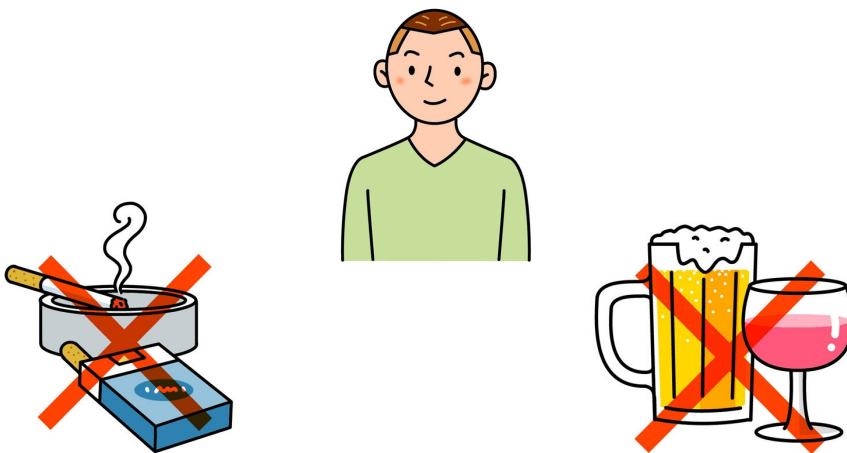
- 宿泊は最大3泊4日までです。

- 手続きの流れ

1. 前もって看護師に宿泊希望日を伝えて下さい。
2. 希望日当日に空き状況を確認し、空いていれば利用できます。
3. 許可願を記入し、当日1階受付で手続きし料金を支払います。
4. 宿泊室の部屋番号を看護師に伝えて下さい。

- 利用時のお願い

- 隣は入院病棟で患者さんが休まれていますので、お静かにご利用下さい。
- 室内は禁煙・禁酒です。食事は西棟1階の食堂もご利用できます。
- 毎日清掃係員が室内を清掃しますが、退室の際はごみなどをまとめておいてください。
- 消灯後はお部屋でお過ごし下さい。
- 病棟の消灯後は病室を退室し宿泊室でお過ごし下さい。何らかの事情で病室に行かれる場合はお静かに願います。



## 病院近郊の宿泊施設のご案内

遠方からお越しのご家族の方などが病院の近くで宿泊できるように、当院では宿泊施設をご案内しております。時期などによって利用料金に変化がある場合があります。詳しくは直接お問い合わせいただくか、東棟2階療養情報センター 医療ソーシャルワーカーまでお問い合わせ下さい。

\* 入院のしおりの最後に地図があります。

### ①マイルーム南郷

札幌市白石区南郷通2丁目南3-10

TEL 011-864-1000

- 2000円/日（10月～3月までは2500円/日）
- 1ヵ月以上ご利用の場合、利用料について相談に応じていただけます。
- 自炊タイプ（テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、ガスコンロなどあり）

### ②ファミリーハウス安藤

札幌市白石区菊水1条4丁目1-12コーポ明和5号室

TEL 011-551-1740

- 2000円/日（11月1日～5月15日までは2500円/日）
- 地下鉄菊水駅6番出口より徒歩1分
- 自炊タイプ（テレビ、冷蔵庫、ガスコンロなどあり）

### ③ドミトリー・南郷

札幌市白石区栄通17丁目5-25

EL 011-855-7333

- 5000円/日（日曜日を除く朝夕食事つき）
- 利用期間により料金が変わります。
- 地下鉄南郷18丁目駅より徒歩6分
- 下宿タイプ（家具・電話つき）

### ④ニュードミトリー・南郷

札幌市白石区南郷通17丁目南1-16

TEL 011-864-7333

- 5500円/日（日曜日を除く朝夕食事つき）
- 利用期間により料金が変わります。
- 地下鉄南郷18丁目駅より徒歩6分
- 下宿タイプ（家具・電話つき）

### ⑤ホテルモナーク

札幌市白石区南郷通2丁目

TEL 011-864-1461

- 洋室5250円/日、和室4725円/日
- 食事代別（朝食）洋735円、和1050円
- 時期により料金変更あります。

### ⑥ホテルルートイン札幌

札幌市白石区北郷4条2丁目1-5

TEL 011-873-2727

- JR白石駅より車で5分
- 時期により料金変更あります。

### ⑦ホテルアセントイン札幌

札幌市白石区東札幌3条2丁目1-3

TEL 011-820-2800

- 病院関係者ご宿泊優待券あり（5000円/日）
- 地下鉄東札幌駅近く

### 各種マンスリーマンション

相談窓口：KM企画 札幌市北区北23条西5丁目1-37-203

TEL 011-807-8851

- 各種マンスリーマンションを扱っています。



## 保育士の活動

- 保育士は1～2名で活動しています。  
活動予定をプレイルーム横の掲示板に表示しています。
- 活動時間  
9時～17時 昼休み 12時～13時 土・日・祝は休み
- 活動内容
  - ◆ 病棟行事の開催
  - ◆ 訪問活動：生活レベルAの部屋から出られないお子様との遊び
    - ・訪問活動ができる日の朝に各部屋をまわります。
    - ・お子様の状態や希望、保護者の予定に応じて訪問時間を決めたり、その日の活動調整をします。ご希望がある時はお伝え下さい。
  - ◆ プレイルーム活動：生活レベルBのプレイルームに来られるお子様との遊び
    - ・行事や訪問活動がない時間にいます。
  - ◆ 幼児のお子様との設定保育：生活レベルBの未就学のお子様との集団遊び
    - ・週に1～2回 11時～12時に行います。 水曜日・不定期
  - ◆ 生活レベルBのお子様の預かり保育：年齢制限はありません
    - ・13時～15時の2時間、お子様をお預かりします。
    - ・この間、付き添いの方の外出が可能です。
    - ・幼児のお子様との設定保育の日と、不定期ではありますがこの日以外にも時間調整が付く日にはお知らせします。
- プレイルームで行われる活動内容によっては入室制限があります。
- 感染症の方の場合、訪問活動はしていませんのでご了承願います。
- 詳細は看護師にご確認下さい。



## 訪問学級

- 入院が長期になる場合、小・中学生のお子様は院内で授業を受けることができます。
- 授業を受ける場合、北海道札幌養護学校への転校手続きが必要になります。
- 登校日： 火・木・金曜日 10時～12時  
病棟プレイルームで行います。
- 参加できるかどうかは病状により、医師が判断します。
- 排尿を済ませて参加して下さい。尿をためているお子様の、登校中の排尿に関しては看護師にご確認下さい。
- 授業中水分をとることはできますので、ペットボトルで飲み物をご持参下さい。
- 訪問学級への移動はご家族の方が付き添って下さい。



## 各種書類について

- メディカルパートナーにご相談下さい。
- できあがるまでおおよそ1週間から10日かかります。

## 看護学生臨地実習について

当病棟では北海道医療大学、北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道保健看護大学校の看護学生臨地実習を引き受けています。

看護学生の臨地実習とは、「学内で学んだ知識、技術、態度の統合を図り、看護実践能力の基本を身につけるために不可欠な学習過程であり、実習は看護に必要なコミュニケーションを基盤とした人間関係能力を育成する」ことを目的としています。臨地実習は、お子様1名に対し学生1名を担当させる受け持ち制という方法で進めています。

協力していただくご家族には、病棟看護責任者よりお子様・ご家族に対しまして事前に実習内容のご説明、お願いをし、同意をして下さった方に限ります。また、同意された後でも学生の看護援助を拒否することができますし、拒否したことによって、お子様に看護及び診療上の不利益な扱いをすることは一切ありません。

当病棟では小児への看護を学びつつ、お子様にとっては少しでも楽しい時間になるように、実習に臨んでいます。何かお気づきの点がありましたら、科長・病棟スタッフに遠慮なくお知らせ下さい。

何卒、看護教育に対しまして、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 福祉制度のご案内

慢性疾患により長期的な入院が必要な方に対し、医療費の負担を軽減するために様々な制度が設けられています。

### 小児慢性特定疾患治療研究事業

- 慢性疾患によって長期療養を必要とし、医療費の負担が大きい疾患を対象に医療費の軽減をおこなう制度です。
- 対象年齢は18歳未満の方ですが、引き続き治療が必要な場合は20歳まで延長することができます。
- 所得によって1ヵ月の自己負担金額が変わります（入院費0円～11,500円）。
- 病衣や電気代などの保険外分は対象外です。

### 特別児童扶養手当

- 20歳未満の精神または身体に障がいのある児童を監護する父母などに、手当が支給されます。
- 決定すると月額1級50,750円、2級33,800円が支給されます。

### 障害児福祉手当

- 在宅の20歳未満の重度障がい児で、日常生活において常時介護を必要とする方に、手当が支給されます。
  - 決定すると月額14,610円が支給されます。
  - 在宅生活を送る方に対して支給となるために、入院後すぐに手続きができるわけではありません。
  - 該当になる方で、3ヵ月以内に退院の見通しのある方は申請できます。
  - こちらの手当については認定基準が細かく分かれており、必ず決定するというわけではありませんので、ご了承下さい。
- 
- 個人個人によって状況は異なりますので、申請できるかどうかについてはその都度、確認する必要があります。
  - 該当が見込まれる方には、医療ソーシャルワーカーより詳しいご説明をさせていただきます。ご質問がある方は、東棟2階療養情報センター 医療ソーシャルワーカーまでお問い合わせ下さい。
  - ナースステーションカウンターに医療制度やイベント、患者の会などの各種ご案内、パンフレットがあります。ご自由にお読み下さい。  
詳しく知りたいという方は、お気軽に医療ソーシャルワーカーへお問い合わせ下さい。